

科目名	政治・経済		履修学年	第3学年	
			履修形態	選択	
			履修単位	2単位	
使用教科書 (出版社)	高等学校 新政治・経済 新訂版 (清水書院)				
使用教材 (出版社)	テーマ別資料 政治・経済 (東京法令出版)				
学習の目標					
<p>広い視野に立ち、民主主義の本質に関する理解を深め、現代における政治、経済、国際関係などについて客観的に理解するとともに、それらに関する諸課題について主体的に考察し、公正に判断することができる力を身に付ける。</p>					
教科担当者から					
<p>政治・経済では、政治や経済の分野における様々な課題を客観的に理解し、広い視野と深い考察力を養うことを目標とします。長い歴史の中で、人々は人間らしく生きるための権利をどのように獲得し、それをどのように発展させるのか、また人と人をつなぐ経済は、どのようにして地球規模で発展し、結びつきを強めているのか。21世紀を担う皆さんが、それらの課題を主体的に考え、共に生きていく社会をつくるにはどうすればいいのか、考えていく科目です。</p>					
評価の観点・方法・割合					
観点	関心・意欲・態度	思考・判断	資料活用の技能・表現	知識・理解	
規準	政治、経済、国際関係に対する関心を高め、意欲的に課題を追求するとともに、国家・社会の一員として平和で民主的な社会生活の在り方について考えようとする。	政治、経済、国際社会にかかわる事柄から課題を見つけ、その本質や特質、望ましい解決の在り方について広い視野に立って多面的・多角的に考察するとともに、社会の変化や様々な立場、考え方を踏まえ公正に判断する。	政治、経済、国際関係にかかわる諸資料を様々なメディアを通して収集し、有用な情報を活用するとともに、考察した過程や結果を様々な方法で適切に表現する。	政治、経済、国際関係に関する基本的な事柄や、本質、特質及び動向をとらえる基本的な概念や理論を理解し、その知識を身に付けている。	
方法	※ ◎は観点の中でより重視するところです。				
観察	◎				
ノート	◎	○			
課題	○	◎	◎	○	
小テスト		○		◎	
考査		○	○	◎	
割合	10%	20%	20%	50%	
評価の基準 ※ 満点を100点としたとき					
5	4	3	2	1	
100点～85点程度	84点～65点程度	64点～45点程度	44点～30点程度	30点未満	

学習内容								
学期	月	単元名／学習内容	学習のねらい	評価の観点				時間
				関	思	資	知	
前期	4	第1編 現代の政治 第1章 民主政治の基本原理	言語活動を取り入れながら、政治の意義や意味を考察するとともに、基本人権と国民権がどのような歴史的な背景で確立したかを理解する。	○	○			6
	5	第2章 日本国憲法と基本的人権	日本国憲法成立の過程を理解するとともに、基本的人権の尊重の意義や平等権・自由権・社会権の規定について具体的な事例を踏まえて理解する。また、国際社会における人権意識について考察する。			○	○	6
	5,6	第3章 日本の平和主義と安全保障 (含：前期中間考査)	平和主義について理解するとともに、第2次世界大戦後の日本外交の概略を学び、人類の福祉向上に対する我が国の役割について考察する。	○	○	○		4
	6	第4章 日本の政治機構	民主政治における立法権、行政権、司法権の在り方について理解するとともに、地方自治が民主政治に果たす役割について考察する。		○		○	6
	7	第5章 現代日本の政治	行政権の優越や我が国の行政手法の特徴について理解するとともに、選挙に着目しながら、望ましい政治の在り方及び主権者としての政治参加の在り方について考察する。		○		○	5
	8,9	第6章 国際政治と日本 (含：前期期末考査)	国際連合設立の歴史を踏まえて、国連の現状と課題を理解するとともに、第2次世界大戦後の国際社会を理解する。				○	6
後期	10	第2編 現代の経済 第1章 現代経済の特質	財・サービスと貨幣が循環する経済のしくみを理解するとともに、市場の機能と役割について学ぶ。また、景気変動が国民に及ぼす影響と対策や中央銀行による金融政策の概要と意義について考察する。	○	○			10
	11,12	第2章 現代日本の経済 (含：後期中間考査)	戦後復興からバブル経済までの日本経済のあゆみを理解するとともに、公害・環境問題と経済の関係について考察する。また、我が国の労働者の権利や社会保障制度について学ぶ。			○	○	8
	12,1	第3章 国際経済と日本	外国為替市場の変動が貿易に与える影響を理解するとともに、国際政治における政策協調の必要性について考察する。		○		○	7
	1	第3編 現代政治・経済の諸課題 (含：後期期末考査)	新たに育まれる命や遠い将来の世代のために、人種や民族の壁を越えて、どのような社会をつくるべきか、地球市民の一員として、議論を交えて様々な角度から考察する。	○	○			2
								60